

谷井2空曹優勝

谷井・山崎アジア大会代表候補へ



競歩の聖地で熱戦を展開した谷井（右）、山崎（左）

日本陸上選手権50km競歩

4月20日石川県輪島市において第98回日本陸上競技選手権大会50km競歩兼第17回アジア競技大会代表選手選考競技会が開催され、自衛隊体育学校に、この4月に入隊したばかりの谷井孝行2等空曹が日本歴代2位の記録となる3時間41分32秒で優勝。また、この種目の日本記録保持者である山崎勇喜3等陸尉は、ロンドン五輪後右ひざの手術を行い2年ぶりの復帰戦となったが、派遣標準を切る3時間44分23秒の好タイムで準優勝し復活の狼煙を上げた。さらに荒井広宙2等陸曹が3位。結果的に、自衛隊体育学校勢がトップ3を独占し、一躍競歩王国に躍り出た印象を与えた。なお、この大会で優勝した谷井2空曹及び準優勝の山崎3尉はアジア大会代表候補者となり、ほぼアジア大会出場を確実にした。



左から山崎、谷井、荒井

アジア大会代表選考会

4月5日、味の素ナショナルトレーニングセンターにおいて、仁川アジア大会強化合宿の中でアジア大会代表選考会が行われた。選考会はあらかじめ選手強化委員会が選定した各階級2名の選手の対戦で実施され、3分3ラウンドヘッドギアなしの公式戦スタイルで行われた。判定は公表されなかった。アジア代表枠は当初JOCから提示されていたのが男子3枠だったが、日本ボクシング連盟側の熱心な折衝により6枠となり、7階級14人の中から、アジア大会でメダルを獲得する可能性の高い選手を選ぶこととなった。自衛隊体育学校からはライトフライ級柏崎刀翔2等陸曹、ライトウェルター級川内将嗣2等陸尉、ウェルター級鈴木康弘3等陸尉の3人がアジア大会代表に選考された。

提示されていたのが男子3枠だったが、日本ボクシング連盟側の熱心な折衝により6枠となり、7階級14人の中から、アジア大会でメダルを獲得する可能性の高い選手を選ぶこととなった。自衛隊体育学校からはライトフライ級柏崎刀翔2等陸曹、ライトウェルター級川内将嗣2等陸尉、ウェルター級鈴木康弘3等陸尉の3人がアジア大会代表に選考された。



復活を猛アピールし代表内定を勝取った川内（右）